

第2章

登別市の概況

1 基本情報

登別市は、北海道南西部に位置する人口約46,000人のまちです。東西約18.5km、南北約22.6kmに広がり、面積は212.21km²を有しています。

市の南東部は太平洋に面しているとともに、北部は山地となっており、海と山に囲まれた自然豊かな環境です。

北海道の中では積雪は少なく、最低気温もマイナス10度以下になることはほとんどありません。7・8月の盛夏でも30度を超えることはほとんどなく、比較的過ごしやすい気候であるといえます。

交通網は海沿いに国道36号の主要幹線があり、それとほぼ平行に道央自動車道があります。道央自動車道を利用した場合の所要時間は、新千歳空港まで約1時間、札幌中心部まで約1時間30分となっています。

札幌中心部までの移動は、JRや高速バス（道南バス、中央バス）を利用することもできます。

また、登別温泉とカルルス温泉は全国的にも有名な温泉地であり、特に、登別温泉は硫黄泉や食塩泉など9種類もの泉質があることで知られ、「湯之国登別」としてPRに努めています。

2 人口と高齢化率の推移等

登別市では、人口の減少に加え、年少人口（15歳未満）や生産年齢人口（15歳～64歳）が減少を続けているのに対し、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあります。

令和3年3月31日現在、65歳以上の高齢者数は17,172人で、高齢化率は37.0%となっています。この数字は北海道の高齢化率32.1%（令和3年1月1日現在）を大きく上回る状況です。

図6 国勢調査に基づく登別市の人口推移
(単位：人、世帯)

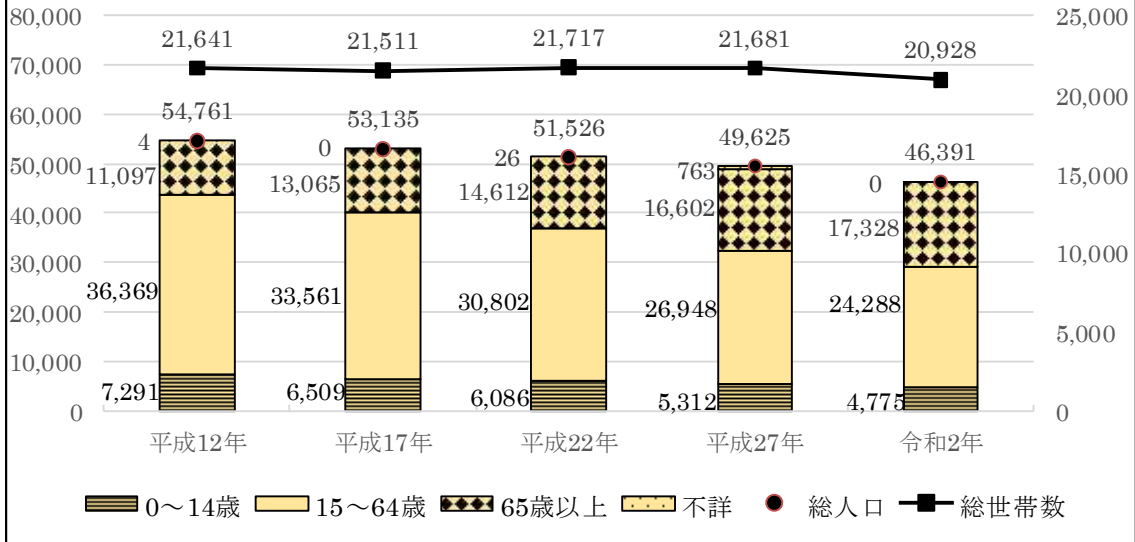
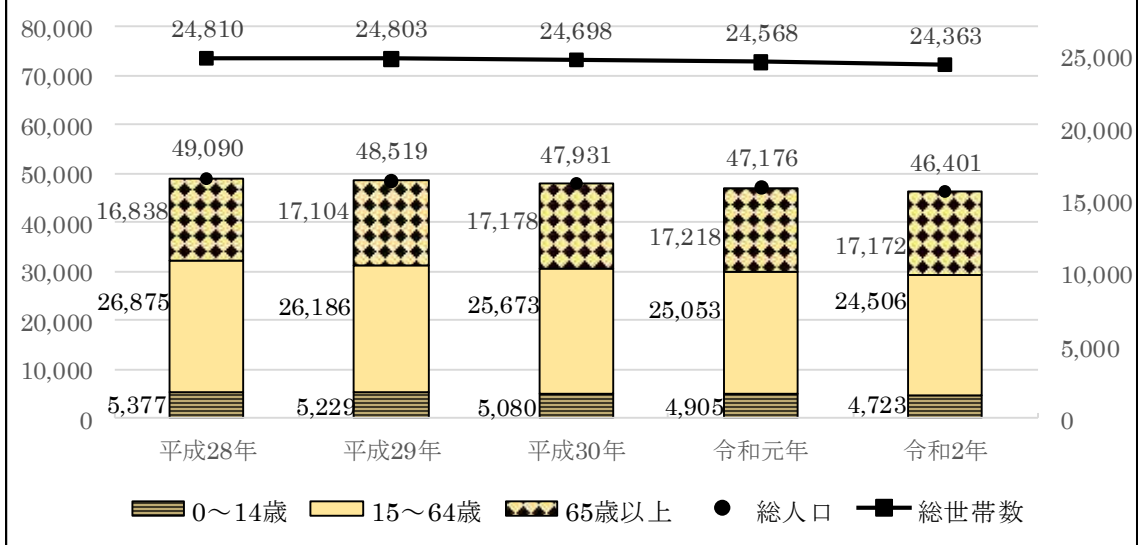
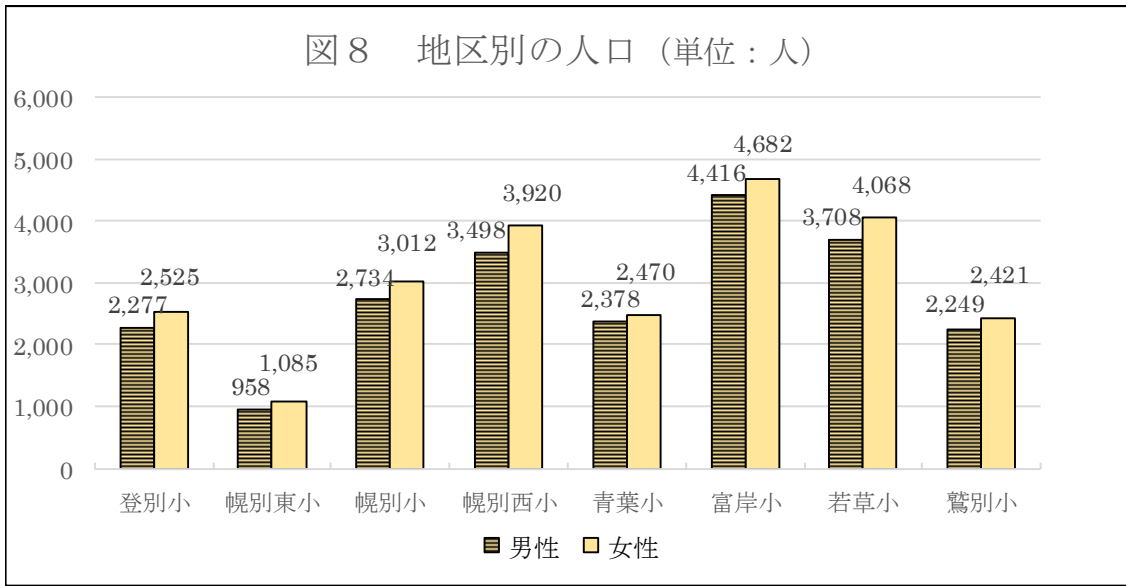


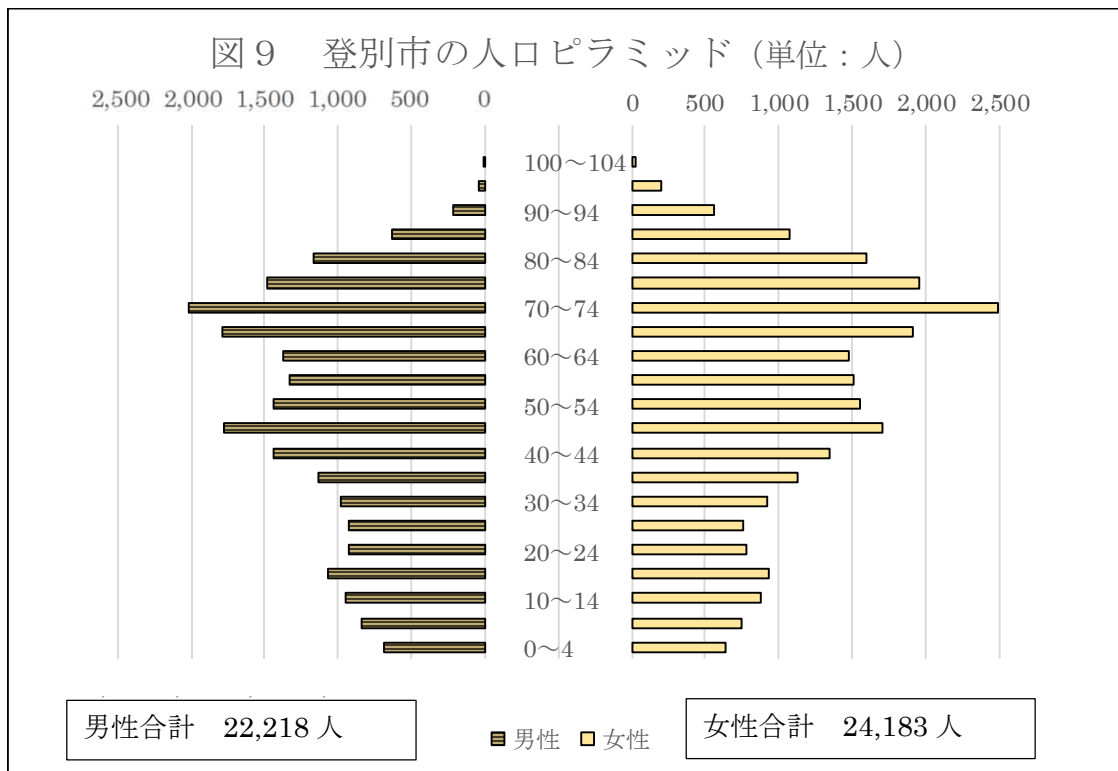
図7 住民基本台帳に基づく登別市の人口推移
(単位：人、世帯)



地区別の人口は、富岸小学校区が最も多く、幌別東小学校区が最も少なくなっています。全地区とも男性よりも女性の人口が多い結果となっています。

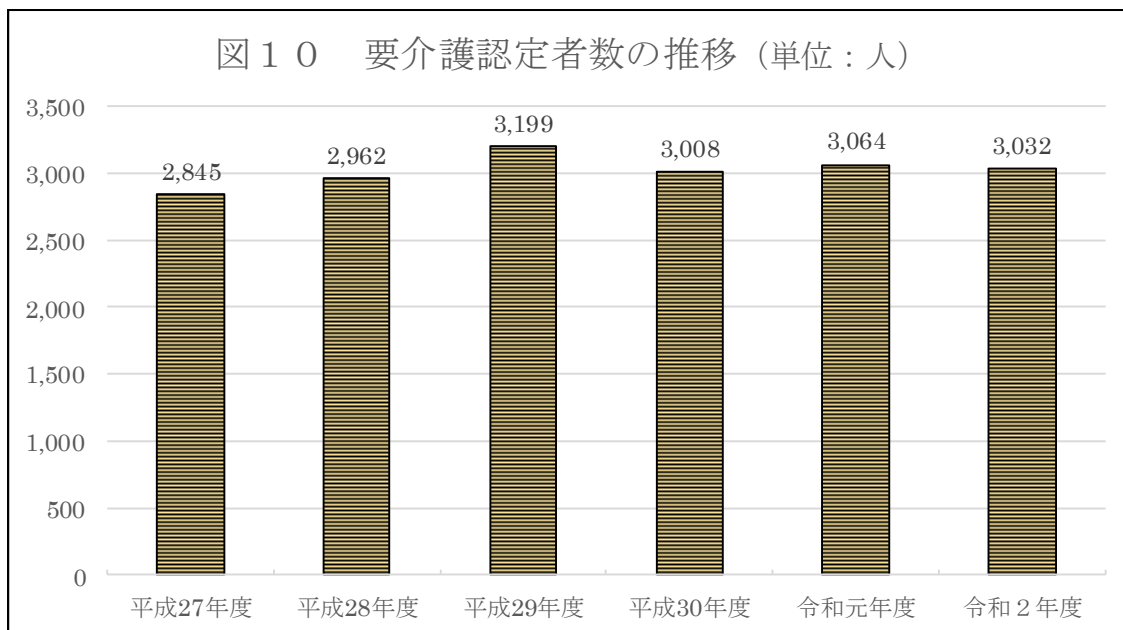


当市の人口を年齢階層別で見た場合、男女共に70歳代の人口が最も多くなっています。今後も生産年齢人口（15歳～64歳）や年少人口（15歳未満）が減少傾向のため、高齢化率はさらに上昇することが予想されます。

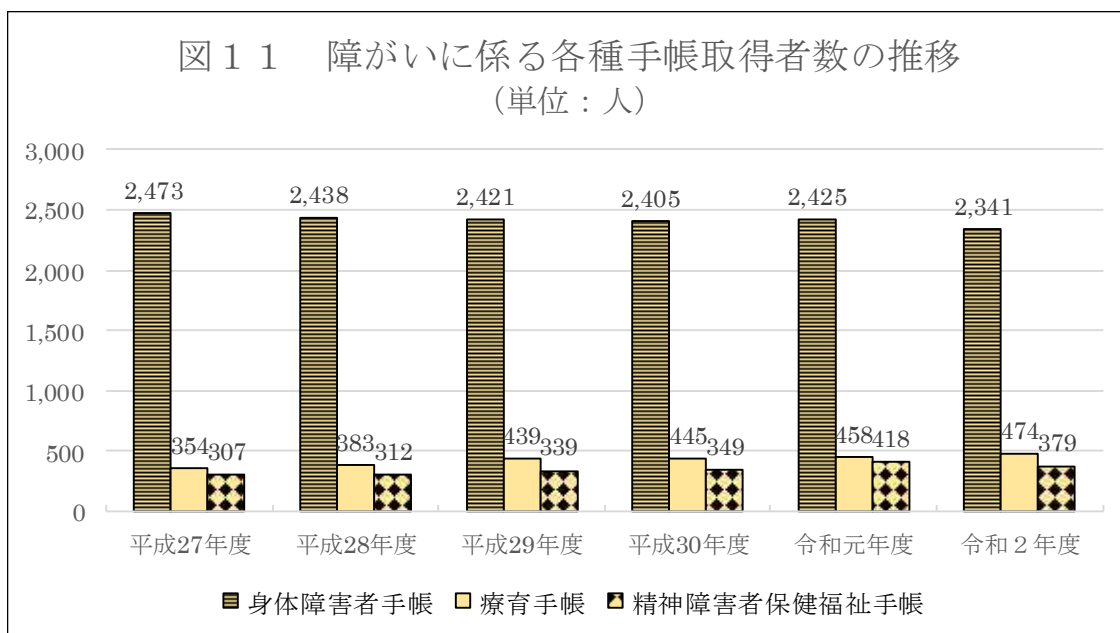


3 福祉制度利用者の状況

介護保険制度における要介護（要支援）認定者について、平成27年度と令和2年度を比較すると、要介護認定者数は187人増加しています。

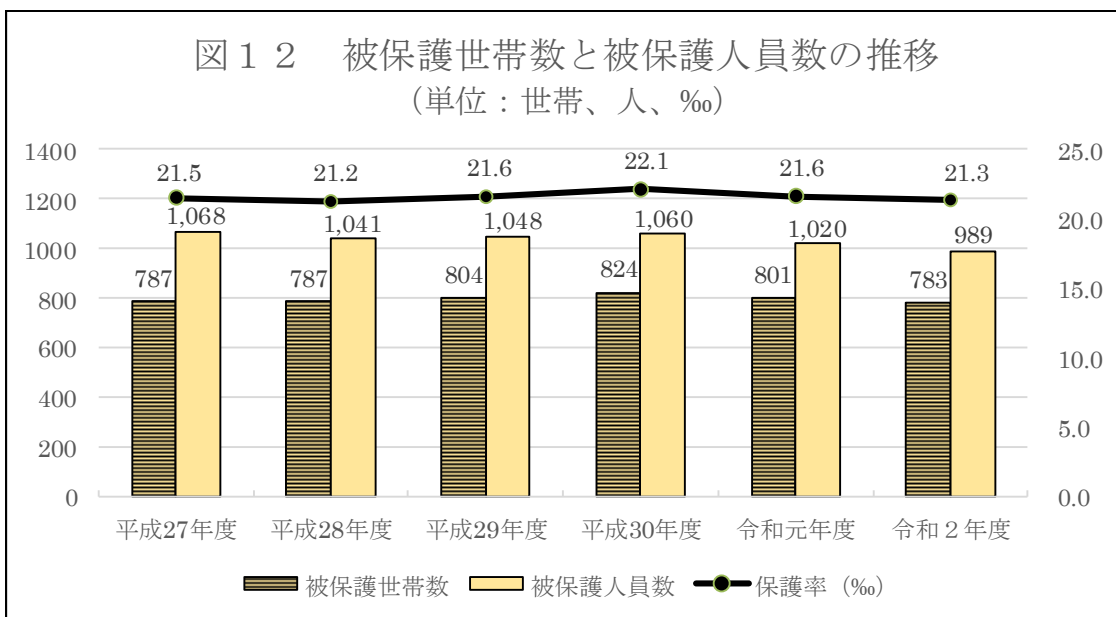


各種障がい者手帳所持者は、平成27年から令和2年まであまり変化はありませんが、身体障害者手帳の所持者は、やや減少傾向にあります。

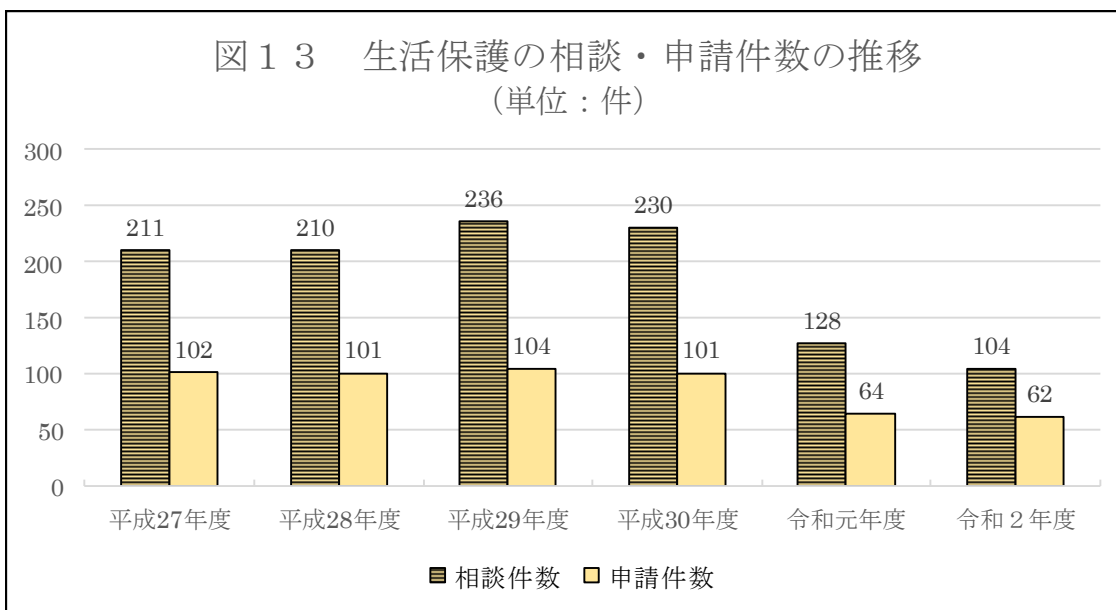


平成27年度から令和2年度まで被保護世帯数と被保護人員数に大きな変化はありません。

※保護率(‰) = 人口1,000人のうち、何人が生活保護を受給しているかの割合であり、‰(パーミル・千分率)で表されます。



生活保護の相談・申請件数は令和元年度から減少しています。



また、生活保護開始世帯を類型別にみると、平成27年度から令和2年度にかけて、高齢世帯の割合が高くなっています。

